

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」姥ヶ山校		
○保護者評価実施期間	2024年11月11日		2024年12月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	2024年12月14日		2024年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育と併せて児童発達支援の小集団活動を定期開催して、集団生活の土台づくりの支援が可能なこと。 また放課後等デイサービスについても定期的にイベントを実施し小集団療育を実施できていること。	・個別と集団を組み合わせたり、祝日にイベントを開催するなどして個別支援と集団活動のニーズを満たすよう工夫している。 ・異年齢児が関わることによって、年上のお子さんの良い見本を見たり年下のお子さんに対して思いやりの気持ちを持ったりすることができている。	平日午前中の小集団活動も実施予定。回数を増やすことで年齢ごとに時間や曜日を区切るなどの支援体制を作り、よりお子さま一人ひとりに合った支援の提供ができるようにする。
2	広い駐車場があり、保護者の送迎・戸外活動などにも利用ができること。	・十分な駐車スペースがあり、送迎の際に車の置き場を心配する必要がないため、支援見学や保護者参加型の支援の提供が可能。 ・校舎敷地内の駐車場であるため安全に戸外遊びをすることができることから季節の遊び(水遊び・雪遊びなど)にも取り組んでいる。	広い駐車場を活かしての戸外活動の充実を今後も図っていく。 またママカフェなどの保護者会などの定期実施も検討中。
3	専門的支援実施の経験年数を満たした保育士が多く、専門的な支援が可能なこと。	・保育士経験を活かし、特に未就学のお子さま間に対しての支援はより高い専門性を持って関わる事ができている。 ・遊びを通してさまざまな体験を提供することが可能であり、楽しんで活動に取り組みながら生活に必要な力を養うことができている。	個別療育に限らず小集団療育でも専門性を活かしたプログラムを提供していく。 小学生以上のお子さまに対しても遊びを通した活動を提供していくことで楽しみながら力を付けていけるように工夫していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育士は充実しているが、PT・OT・STがおらず、言葉や手先の巧緻性などの支援の専門性に欠けることがある。	自事業所にST等の有資格者の配置がない。	自事業所にはST等の配置はないが、近隣のきらりや全国には在中しているため、会社内で連携を取りながらより専門的な支援が提供できるように努める。
2	運動遊びをするには施設が狭いという意見がある。	個別支援が中心のため、ホワイトボードや机などで事業所内を区切っており、運動遊びをするにはスペースが限られている。	一時間の受け入れ人数によってはホワイトボード等の仕切りを動かして空間を広くするなど工夫する。また、天候によっては戸外活動に切り替えるなどしてのびのびと過ごせるような工夫を図っていく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こどもサポート教室「きらり」姥ヶ山校					公表日	2025年 2月 15日			
					利用児童数	20		回収数	19	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	5	1	1	少人数での活動で、ボール遊びや鬼ごっこなどを する場合はスペースが足りない気がします。 ボール遊びをしていただくときに狭いかなと思 いました。 一人で活動するスペースをもっと広くしてほ しい。 狭く感じます。	運動遊びに関してスペースの確保ができ るよう、パーティションなどの配置を適 宜変えるなどして対応してまいります。 また、個別支援のスペースについては机 の配置等を工夫して広く使えるよう検討 してまいります。			
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	19	0	0	0	十分だと思います。	今後も必要な人員について継続して配置 してまいります。			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	5	0	0	初回利用の際にトイレの場所等の教室の使い方が なく、トイレを我慢していたので説明や声掛けが あるとよかったです。	今後、事業所見学または初回支援の際に は教室内の案内を徹底してまいります。			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	4	0	0	床が固く、ボール遊びで転んで足を擦りむいてし まってしばらく治らなかったので運動する時は靴 下を脱がないか材質を変える工夫が必要ではな いかと思います。 他の子どもたちも同じ空間で活動しているので音 が気になる。防音に配慮した空間になってほ しい。	けが、事故等を防ぐための配慮を事業所 内で検討し徹底してまいります。 音が気になるお子さまや集中して取り組 みたい場合には面談室での支援も可能と なっております。お子さまのご様子に合 わせてご提案させていただきます。			
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	16	1	0	2	その日の子どもの行動を細かくお話しいただけ て嬉しく思います。	支援後に必ずフィードバックの時間を設 けています。今後も、支援中のご様子や ご家庭・園でのご様子などについて共有 させていただければ幸いです。			
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	17	0	0	2					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思 いますか。	18	0	0	1					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提 供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支 援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体 的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	0	1	0					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18	1	0	0					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思います か。	16	2	0	1	毎回違う教材が用意されていて興味を持って取り 組んでいます。	お子さま一人ひとりに合わせて教材や支 援内容を検討しております。今後も、お 子さまの成長に合わせたプログラムを提 供できるよう努めてまいります。			
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと 活動する機会がありますか。	10	3	2	4	まだそのような機会を見たことがないから	お子さまの状況を踏まえ、現在は地域の お子さまとの交流の機会はありませんで した。今後、ご要望と状況を踏まえて検 討してまいります。			
保 護 者 へ の	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	19	0	0	0					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19	0	0	0					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われています か。	10	2	1	5	まだそのような機会を見たことがないから	ペアレントトレーニングやペアレントブ ログラムなどの実施を計画しておりま す。来年度提供できるよう努めてまいり ます。			
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況に ついて共通理解ができていると思いますか。	18	0	1	0					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	1	0	0					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	0	0	1	いつも丁寧に支援していただいています。ありが とうございます。	今後もご家族の皆さまとのコミュニケー ションにも力を入れて取り組んでまいり ます。			

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	5	0	7	まだそのような機会を見たことがないから	今年度夏に「きらりカフェ」を実施いたしました。今後も定期開催できるよう調整してまいります。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	0	0	3	説明は受けたがまだ相談したことがない	ご相談等の申し入れがあった際には迅速に対応できるよう体制を整えております。また、LINEやお電話でのご相談も可能となっております。今後も引き続き迅速な対応ができるよう努めてまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13	0	0	7		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	1	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	1	0	9	まだそのような訓練をしているのを見たことがないから	各種マニュアルについて作成しております。また、各種災害を想定した訓練を実施しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	1	0	11	まだそのような訓練をしているのを見たことがないから	火災・地震・水害などに備えた避難訓練を毎月行っております。訓練の様子については玄関に掲示しております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	1	0	4	まだそのような訓練をしているのを見たことがないから	安全計画を作成し、けがや事故等が起きないよう、また万が一起きた際にも迅速な対応ができるよう努めてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	1	0	5		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18	1	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18	1	0	0	前日に「明日きらりだよ」と伝えるととても嬉しそうです。「明日きらり？」といつも楽しみにしています。	嬉しいお言葉をありがとうございます。今後も通ってくださる誰もがきらりで過ごす時間が楽しく安心して過ごせる場所であるよう努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	3	0	0	個別なこと、保護者への振り返りを考えれば仕方ないことかもしれませんが支援の時間が短く感じます。	お子さまが無理なく集中できる時間というところで個別支援を一時間とさせていたでいております。お子さまの様子等に併せて柔軟に対応できるよう改めて検討してまいります。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	こどもサポート教室「きらり」姥ヶ山校	公表日	2025年 2月 15日
------	--------------------	-----	--------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		法令を尊守したスペースを確保しています。	プログラム内容やお子さまの人数に合わせ、適切な支援スペースでのサービス提供に努めます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数配置は適切であるか。	○		法令で必要とされる人数を配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		バリアフリー化はおりませんが、お子さまの特性に合わせて対応して言います。	お子さまの状況に合わせて支援環境に配慮いたします。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		お子さまが心地よく過ごせるよう清掃し、活動に合わせた環境作りを行っています。	引き続き定期的な清掃・消毒等を実施いたします。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		お子さまの特性に合わせて、個室の提供が可能となっております。	職員の見立て、お子さま本人の申し入れ、ご家族の皆さまのご要望などを踏まえて今後も適切な環境で支援提供できるよう努めます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		日々の振り返りを定期的な全体ミーティングや個別で行っております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ご家族の皆さまの要望、意向を確認し、業務改善につなげています。	ご家族の皆さまのからのご意見を真摯に受け止め、適宜改善していきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的に事業所ミーティングを行い、職員が働きやすい環境となるよう適宜業務分担を行い、改善を図っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現在は、利用者様・社内の二者評価を取っております。	第三者による外部評価については、今後必要に応じて実施を検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		一か月間の初任者研修を実施し、その後も全ての職員を対象に継続的に研修を行っております。	新潟市等外部での研修にも積極的に参加し、資質向上に努めてまいります。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○		公表に向けて支援プログラムを作成し、準備を整えております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		定期的なアセスメントを取ったうえで個別支援計画を作成しています。	お子さまの成長のお力添えができるよう、計画作成のスキル向上に努めます。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		アセスメントを基に個別支援計画を作成後、個別支援計画作成会議を行い、全職員に共通理解が図られるように検討しております。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画に基づいた療育支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		統一したアセスメントシートを使用し、お子さまの現状を都度確認しております。	引き続き、ご家族の皆さまとお話や発達検査の結果等、他方面からの現状把握に努めます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		本人支援・家族支援・移行支援等について個別支援計画に明記し、お子さまのアセスメントや支援時のフィードバックの際にご家族の皆さまからニーズをお聞きしたものをもとに支援内容の設定を行っています。	必要に応じて個別支援計画を見直し、その都度必要となる支援を提供してまいります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		個別支援計画に基づいた療育支援を行っています。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	支援についての情報共有やプログラム立案は毎日行い、お子さまの状況に合わせた支援を行っております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○	個別療育と併せて週1回程度、小集団療育も実施しております。多方面にお子さまの成長をサポートできるよう支援を行っております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	朝礼を毎日行い、職員間での情報共有を必ず行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	終礼を毎日行い、職員間での情報共有を必ず行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	支援記録を取り、見直すことでお子さまの成長や取り巻く環境の変化に合わせて支援内容や方法を共有しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	定期的に個別支援毛核の見直しについての面談の時間を設けています。	今後も定期的なモニタリング・面談を通して適切に見直しが行われていくよう努めます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	児童発達管理責任者もしくは主に支援を担当している職員がサービス担当者会議に出席しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	お子さまが通っている保育園・幼稚園・こども園等と定期的に連絡を取り合うなどして連携体制を整えています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	必要に応じて就学に向けた支援を行っております。また、定期的に保育園やこども園・幼稚園等とも連絡を取り合ったり互いに見学に行ったりするなどして相互理解に努めています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	就学に向けて支援情報提供書を作成しお渡ししたり、移行会議に参加したりするなどして相互理解に努めています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○	児童発達支援センターとお子さまの情報共有を行うとともに、必要に応じて支援についてご助言いただいております。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○	地域交流については、限られた支援時間の中での実施が難しいことから現在実施しておりません。	個々のお子さまの状態に応じて、必要があれば個別支援計画に位置付けたうえで実施できるよう調整いたします。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	支援終了後にご家族の皆さまへフィードバックの時間を設け、その日のご様子やご家庭・園でのご様子を相互に共有しております。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	支援後のフィードバック時に家庭での対応方法について適宜アドバイス等しております。	今後は、ご家族の皆さまに向けたペアレントトレーニング等の実施ができるよう検討しております。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	契約時に説明をしております。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	契約前面談やモニタリング等を通じてご家族の皆さまの要望をお聞きしたうえで個別支援計画を作成しています。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		個別支援計画を示し、内容について説明するなどしてご家族の皆さまと一緒に確認を行ったうえで同意をいただいております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		主に支援後のフィードバック時に相談に応じております。また、家族支援の時間を設け個別面談を実施する場合があります。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		今夏にご家族の皆さまを対象に「きらりカフェ」を実施いたしました。2月にも実施予定です。	今後も定期的に開催できるよう体制を整えてまいります。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		お子さまやご家族の皆さまからの申し入れについては迅速な対応を心掛けております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		連絡体制についてはLINE等を活用しております。HP・SNSでの活動報告が滞っておりますので改善いたします。	HPやSNS等を積極的に活用し、お子さまやご家族の皆さまに活動内容の発信ができるよう徹底してまいります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報が記載された書類は鍵付きキャビネットに保管しています。個人情報にアクセスできる端末についてはパスワードを設定するなどして適切に対応しております。	引き続き、個人情報の取り扱いには十分留意し、個人情報保護について全職員で徹底して取り組んでまいります。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		視覚情報などを活用しながらその時の状態に合わせた意思疎通・情報伝達を行っております。	今後もお子さまやご家族の皆さまの状況に合わせた配慮を行ってまいります。
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		お子さまの特性等を踏まえ、現在は教室解放などは実施しておりません。	ご要望などあった場合には実施できるよう検討してまいります。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを策定し、研修を実施しております。また、毎月避難訓練を実施しております。実施報告については玄関に掲示しております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画を策定し、必要物品の備蓄をおこなっております。また、毎月避難訓練を実施し、非常災害の発生に備えております。	今後も定期的な訓練と備蓄品の管理を行い、非常災害の発生に備えてまいります。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約前の面談時と1年に1回必ずお子さまの状況や服薬・持病等について確認しております。また、フィードバック時などにも適宜確認しております。	今後も、利用開始前にお子さまの状況を確認させていただきご家族の皆さまと共通認識を持てるよう努めます。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギーの有無について確認し、支援時に該当物質との接触が起こらないよう留意しております。	食事提供はありませんが、アレルギーについて確認を取り、必要に応じて医師の判断に基づいて対応いたします。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を策定し、研修・訓練を実施しております。また、事業所内で安全に過ごせるよう環境を整えております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全確保のために事故や災害発生時の対応について共有するとともに緊急連絡先を控えるなどして対応しております。	今後もご契約時の説明等を徹底し、安全確保について共通認識を持てるよう努めます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事例が怒った際には、報告書を作成・保管し職員間で共有して再発防止について再度検討しております。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止研修やストレスチェックなどを定期的に実施し、適切な対応ができるよう徹底しております。	今後も全社員が研修を受け、適切な対応を徹底してまいります。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		研修を実施し、事業所全体で共通認識・理解を図っております。ご家族の皆さまへは契約時に丁寧な説明を行い、利用契約書・個別支援計画にも記載しています。	身体拘束が必要なケースは現在ありませんが、必要に応じて適切に対応してまいります。	